第７０号　進路新聞

はばたき

令和６年２月２２日（木）
福井東特別支援学校

◆校長より◆

「卒業後の進路はまだまだ先のことと考えていたのがあっという間に自分事として差し迫ってきた」、ご本人さんも保護者の方もそのような感覚をもつのが現状かと思います。事業所等が増えてきたとはいえ、ご本人さんに合った、あるいは、希望にぴったりとくるような行き先を見つけるのもなかなか難しい現状があると思いますが、進路を決めるにあたっては、なによりもご本人、ご家族のお気持ち、決断が必要になってきます。

そのためにも、本校では、児童生徒には活動を通して地域に出る機会、将来を考える機会を増やしていきながら、できる限り早い時期からのアプローチをしたいと考えてきました。特に病肢高等部では３年前から「夢かなタイム」（“夢をかなえる”の略です）という授業を通して、自己理解を深め、自分のできることから行動を起こすことを後押ししてきました。保護者の皆様には進路についての懇談会や進路研修会、そして、今年度、新しく取り組んだ「事業所さんといっしょ」等を通して情報提供を行ってきました。

地域のなかで早期からいろいろな人とつながり、実際に自分の目で見て体感したり、体験を重ねたりすること、そのなかで自己理解を深め、卒業後、地域のなかで誰とつながりながら安心して自分らしく生きていけるのかを私たち教職員もご一緒に考えながら、共に一歩ずつ前に進んでいければと思います。今年度も進路に関して保護者さまのご理解、ご協力を賜り、深く感謝申しあげます。

◆Ａコース中学部・高等部　事業所体験実習◆

１０月下旬、中学部１名と高等部２名の生徒が、福祉事業所で事業所体験実習を行いました。「初めての事業所での活動に普段通り参加する」「卒業後に利用予定の事業の職員や利用者の関わりを受け入れて、落ち着いて過ごす」、「事業所の雰囲気に慣れ職員と穏やかに過ごす」などを目標に、それぞれが保護者同伴のもと実習に参加しました。中学部の生徒は今回が初めての実習になりましたが、音楽活動に参加し、事業所の様子や雰囲気を知ることができました。高等部の生徒は、卒業後の生活に合わせた曜日で実習を行い、１日の流れを再確認するなど、卒業後を見据えた実習になったのではないかと思います。

【事業所スタッフへのアンケートから】

・高等部では将来のことも見越して実習期間を数日とり、職員や他の利用者との関わりを増やした形で実習ができると良いと思います。
・事業所利用に向けて、学校や家庭とは違う環境（マンツーマン対応は難しい等）にも慣れてもらえるようにご検討いただきたいです。
・実習前後の打ち合わせや意見交換がとても重要だと思っているので検討していただけると良いと思います。

【保護者へのアンケートから】

・卒業後、安心して利用できそうだと感じました。
・食事の形態、入浴の仕方、一日の流れなど、卒業後の流れについて再確認できて良かったです。
・子どもだけの実習ができると、続けて２日など実習に行くことが可能かと思いました。

◆事業所さんといっしょ◆

今年度からの新しい取り組みですが、毎回、保護者の皆様に積極的にご参加いただいており、誠にありがとうございます。お子様の進路や将来のことを考える機会にしていただけたら幸いです。２学期以降は、下記の事業所に来ていただいたり、見学に行ったりしました。多くの事業所を実際に見聞きすることによって、お子様に合った就労先・将来の生活の場が、より明確にイメージできるようになったようです。

９月　ＹＯＬＯ－ＦＵＫＵＩ、ふくい福祉振興会　　１０月　Rose&Farm はぐくみ
１１月　ネクステクノ各事業所　　１２月　山崎金属ベア
１月　コ ム ・サポート･プロジェクト、ワークハウス　　２月　げんきの家

今年度は、基本的に月曜日の１４時からと時間を設定しましたが、来年度はより多くの方が参加できるよう工夫していきたいと考えています。

山崎金属ベア

◆病肢中学部３年　職場見学・体験実習◆

今年度は１名が「足羽山公園遊園地ハピジャン」で実施しました。大好きな動物にかかわる仕事を体験したいという希望が叶い、意欲的に取り組むことができました。担当の方の説明を聞きながら、飼育小屋の掃除、餌や水やり、ポニーの手入れ（ひづめの掃除やブラッシング）等いろいろなお仕事をしました。挨拶や返事もしっかりでき、付き添いの教員を介さず職員の方と直接たくさん会話もしました。室温を確認して記録したり、指示された重さを量って餌の準備をしたり、どの仕事も生き生きとこなしました。時間はあっという間に過ぎ「もっと居たかった」と言うくらい充実した体験になりました。

◆病肢高等部　秋の産業現場等における実習◆

現場実習は、事業所等での実習を通して、自分に合った進路先を探し、進路決定をするための貴重な活動です。それと同時に、学校とは別の場所で、知らない人の中で活動する貴重な体験の場でもあります。自分に合った仕事は何か、周りの人とうまくやっていけるか、自力で通勤できるか、自分のことは自分でできるかなどを考えて実践したり、自分の良さや課題に気付いたりする機会・経験となったのではないでしょうか。貴重な経験から得たことを自分のものにし、今後の生活に生かしてくれるものと思います。

実習先

《一般企業》　ヤマト運輸、マクドナルド、ハニー新鮮館、ルテカフェ＆ベーカリースィーツ、ハーツ、ＵＡＣＪ、いちごデイセンター福井、福井鉄道、マルイチセーリング、ふじしま認定こども園、子育てサポートセンターあしあと

《福祉事業所》　ウォレスジョブトレ、足羽サポートセンター、CREPE　DE　GIRAFE、水野製作所、バーガーキング、いろは、松原病院ジョブガーデン、前進主義（style、ふくい、AOSSA）、永平寺あぐりの家、ハウスやわらぎ、ＦＬＡＰ、ネクストステップジョブトライ厚生、ふくい福祉振興会（在宅）、スマイル農園、つづきの家、プラス、あすわの木、タクティクス福井西／南営業所

～１年生～

３日間やってみて、やっぱり働いてみたいなと思った。

職場の方と親しみをもってかかわることの大切さを知った。
自分の得意なことに気付いた。

～２年生～

どうしたら商品を手にとってもらえるかなど考えることが多く、今までにない経験ができた。

３年生では、誰かの役に立てる仕事に挑戦したい。

３つの実習先に行き、自分の苦手なことや慣れていないこと、この作業は楽しいなど、いろいろなことが分かった。

～３年生～

作業を長い時間することの大変さを知ることができた。作業所では、多種多様な作業をするが、簡単なことじゃないと思った。

進路を決めるときに考えたことは
① いろいろな種類の仕事がある
② その仕事が自分に合っているか
③ 通勤距離が近いか
④ 会社の雰囲気が自分に合っているか
自分が元気に通える仕事に就くのが良い

◆病肢高等部　現場実習報告会◆

12 月に実施しました。現場実習終了後、各生徒が自分の実習の様子を振り返り、作業内容や感想、課題などをパワーポイントなどにまとめました。当日の発表スタイルは、各生徒の状態に合わせて行いました。参加していた生徒は、真剣に友達の発表を聞いており、また、様々な仕事があることを確認できたのではないかと思います。３年生から後輩へ、「進路を決めるときに分からないことがあったら、家族や先生に相談することが大事」「自分が元気に通える仕事に就くことがいいと思う」というメッセージもありました。

◆高等部の今年度卒業生の進路先◆

○一般就労（障がい者枠）２名　○福祉的就労（就労継続支援Ｂ型事業所、移行支援事業所）７名　○生活介護　１名　○未定　３名